

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月14日

【四半期会計期間】 第44期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 株式会社サガミチェーン

【英訳名】 SAGAMI CHAIN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鎌田 敏行

【本店の所在の場所】 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地

【電話番号】 052(771)2126(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理担当 長屋 昇

【最寄りの連絡場所】 同上

【電話番号】 同上

【事務連絡者氏名】 同上

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第3四半期 連結累計期間	第44期 第3四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自 平成24年1月21日 至 平成24年10月20日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年1月21日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	14,064,681	14,737,690	22,599,013
経常利益 (千円)	308,181	520,864	672,386
四半期(当期)純利益 (千円)	183,991	436,806	447,078
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	191,442	511,026	690,617
純資産額 (千円)	9,531,614	10,788,545	10,405,237
総資産額 (千円)	14,450,033	17,422,443	15,237,026
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	7.55	17.49	18.27
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	65.9	61.8	68.2

回次	第43期 第3四半期 連結会計期間	第44期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月21日 至 平成24年10月20日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.76	4.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 各期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第43期は決算期変更により、平成24年1月21日から平成25年3月31日までの14ヶ月11日間の変則決算となっております。これに伴い、第43期第3四半期連結累計期間と第44期第3四半期連結累計期間とは対象期間が異なっております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループで営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、NADEERA GLOBAL CO.,LTD.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当社グループは、平成25年12月4日開催の取締役会において味の民芸フードサービス株式会社の株式
売買契約を締結することを決議し、12月5日及び12月6日に株式譲渡契約を締結いたしました。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載して
おります。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

前連結会計年度の決算期変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は比較対象となる前第3四半期連結
累計期間と対象期間が異なるため、対前年同四半期増減比較は記載しておりません。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府
による経済・金融政策等の効果により円安、株高が進行し景況感に改善の兆しが見られたものの、一方
で原材料費や電気料金の値上がり、更には消費増税を控えており、先行きは依然として不透明な状況が
続いております。

外食産業につきましても、景気回復と連動する形で緩やかに外食支出は回復してきておりますが、中
食需要の高まりなど小売業を巻き込んだ食市場の争奪戦となっております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しながら、店舗
の改革を進めると共に、期首より「経営基盤の強化」、「科学的経営の推進」、「研修制度の拡
充」を柱に取組んでまいりました。

当社の主力業態であり、「サガミ」の店名で親しまれております和食麺類部門では、全店販売促進企
画として「大感謝祭」を2回、「料理フェア」を6回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡
県・富山県・奈良県で「こだわり テレビCM」を6パターン放映いたしました。客単価こそ対前年同一
期間（4月1日から12月31日）で2.4%減となりましたが、前述の取組みなどにより既存店の客数は、
対前年同一期間（4月1日から12月31日）で5.8%増となり、既存店売上高は、対前年同一期間（4月
1日から12月31日）で3.4%増となりました。

店舗関係では、当第3四半期末での『和食麺類部門』の店舗数が127店舗で増減はありません。

セルフサービス方式のどんどん庵部門では、「どんどん祭り」を2回実施したほか、「料理フェア」
を7回実施いたしました。

店舗関係では、4月に長喜町店、11月に葵町店を閉鎖し、7月に星見ヶ丘店をあいそ家Kitchen大山
田店としてリニューアルオープンいたしました。

当第3四半期末での『どんどん庵部門』の店舗数は、44店舗であります。

その他の部門では、大型セルフうどん「製麺大学」において、「大学祭」を2回、「料理フェア」を6回実施し、団欒食堂「あいそ家」において、「お客様大感謝祭」を2回実施いたしました。店舗関係では、フランチャイジーの「かつや」2店舗の営業権を売却し、12月にはごはん処「平子橋食堂」を閉鎖いたしました。また、4月にショッピングセンターのバロー大津店、9月にはイオンタウン名西店に「サガミ村」を出店いたしました。

当第3四半期末での『その他部門』の店舗数は、33店舗であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,737百万円、営業利益は472百万円、経常利益は520百万円、四半期純利益は436百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、17,422百万円と前連結会計年度末に比べ2,185百万円の増加となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ2,041百万円増加し6,025百万円、固定資産は144百万円増加し11,396百万円、流動負債は前連結会計年度末に比べ798百万円増加し3,932百万円、固定負債は1,003百万円増加し2,701百万円、純資産は383百万円増加し10,788百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数に著しい増減はありません。

提出会社の状況

当第3四半期累計期間において、当社の従業員数は、主として、管理体制の変更に伴い連結子会社への出向等のため、89名減少し381名となりました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	74,630,000
計	74,630,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	24,972,784	同左	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	24,972,784	同左		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		24,972		6,303,521		3,405,791

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,000		
完全議決権株式(その他)	24,763,000	24,763	
単元未満株式	205,784		
発行済株式総数	24,972,784		
総株主の議決権		24,763	

(注) 1 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式902株が含まれております。

2 「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が50株含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サガミチェーン	名古屋市守山区 森孝一丁目1709番地	4,000		4,000	0.0
計		4,000		4,000	0.0

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,108,107	5,097,328
受取手形及び売掛金	104,552	118,449
有価証券	292,880	165,264
商品及び製品	58,189	73,127
原材料及び貯蔵品	194,078	277,475
その他	227,117	294,289
流動資産合計	3,984,925	6,025,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,729,578	1,761,640
機械装置及び運搬具(純額)	169,014	165,315
土地	6,159,243	6,170,178
その他(純額)	113,806	239,989
有形固定資産合計	8,171,642	8,337,124
無形固定資産		
	132,542	134,211
投資その他の資産		
投資有価証券	1,119,457	1,208,994
差入保証金	1,444,021	1,401,946
その他	396,361	322,682
貸倒引当金	11,925	8,450
投資その他の資産合計	2,947,915	2,925,172
固定資産合計	11,252,100	11,396,508
資産合計	15,237,026	17,422,443
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	586,394	593,246
短期借入金	480,000	1,060,000
1年内返済予定の長期借入金	1,028,897	711,024
未払金	655,463	1,080,374
未払法人税等	28,356	105,719
賞与引当金	82,045	8,446
店舗閉鎖損失引当金	2,603	-
その他	270,207	373,473
流動負債合計	3,133,968	3,932,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
長期借入金	1,149,068	2,036,790
長期未払金	110,470	83,870
退職給付引当金	5,945	6,348
資産除去債務	312,610	319,802
その他	119,726	254,802
固定負債合計	1,697,820	2,701,613
負債合計	4,831,788	6,633,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	3,405,791	3,405,791
利益剰余金	626,735	938,688
自己株式	1,585	5,449
株主資本合計	10,334,462	10,642,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,961	94,471
為替換算調整勘定	5,999	36,844
その他の包括利益累計額合計	57,962	131,316
少数株主持分	12,812	14,677
純資産合計	10,405,237	10,788,545
負債純資産合計	15,237,026	17,422,443

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,064,681	14,737,690
売上原価	4,292,148	4,490,245
売上総利益	9,772,532	10,247,444
販売費及び一般管理費	9,473,585	9,775,428
営業利益	298,947	472,016
営業外収益		
受取利息	6,933	5,587
受取配当金	14,047	19,841
為替差益	-	27,536
受取保険金	13,508	6,706
雑収入	18,834	20,750
営業外収益合計	53,323	80,423
営業外費用		
支払利息	32,730	22,704
雑損失	11,359	8,870
営業外費用合計	44,089	31,574
経常利益	308,181	520,864
特別利益		
保険解約益	-	22,439
資産除去債務戻入益	-	11,499
有価証券償還益	-	33,360
営業権譲渡益	-	47,738
固定資産売却益	8,454	7,258
その他	1,498	-
特別利益合計	9,953	122,295
特別損失		
役員弔慰金	-	47,000
長期借入金解約損	-	15,769
固定資産売却損	1,215	9,762
固定資産除却損	24,424	15,791
減損損失	17,063	20,864
投資有価証券評価損	31,841	-
保険解約損	5,242	-
その他	6,997	5,697
特別損失合計	86,785	114,884
税金等調整前四半期純利益	231,349	528,275
法人税、住民税及び事業税	58,134	91,811
法人税等調整額	9,308	688
法人税等合計	48,826	92,500
少数株主損益調整前四半期純利益	182,523	435,775
少数株主損失()	1,468	1,031
四半期純利益	183,991	436,806

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	182,523	435,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,435	30,510
為替換算調整勘定	484	44,740
その他の包括利益合計	8,919	75,251
四半期包括利益	191,442	511,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,177	510,160
少数株主に係る四半期包括利益	3,734	865

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、NADEERA GLOBAL CO.,LTD.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月21日 至 平成24年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費 269,119千円	減価償却費 296,162千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月21日 至 平成24年10月20日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

平成24年4月19日開催の第42期定時株主総会において、「第1号議案 資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の件」が可決され、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金7,255,780千円のうち3,849,988千円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、上記振り替え後のその他資本剰余金3,851,113千円の全部の金額及び別途積立金1,176,500千円並びに固定資産圧縮積立金14,859千円の全部の金額を減少させ繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の損失の補填を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	124,854	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月21日 至 平成24年10月20日)

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月21日 至 平成24年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	7円55銭	17円49銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	183,991	436,806
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	183,991	436,806
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,380	24,968
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

(株式取得による子会社化)

1. 企業結合の概要

当社グループは、平成25年12月4日の取締役会において味の民芸フードサービス株式会社(以下「味の民芸」)の株式を取得し子会社化することを決議し、平成25年12月5日及び12月6日付で株式譲渡契約を締結いたしました。また、当契約に基づき平成26年1月7日に同社の株式を取得いたしました。

(1) 被取得企業の名称及び事業内容

被取得企業の名称 味の民芸フードサービス株式会社
事業内容 手延べうどん「味の民芸」、その他飲食専門店のチェーン経営

(2) 企業結合を行った理由

当社グループは、創業以来「食文化を通じて地域社会に奉仕すること」「企業を通じてお客様に奉仕すること」「食と職の楽しさを創造する企業」をモットーに「No.1 Noodle Restaurant Company」の実現に向け、中部圏を中心にうどん・そばを提供する和食麵処「サガミ」等を展開しております。一方で味の民芸は、お客様の視点をテーマに「みんなのゆたかさ笑顔のために」をモットーに、関東圏を中心にうどん・そばを提供する「味の民芸」「水山」等を展開しておりま

す。

この株式の取得により、お互いの不足していた商圈を確保し、更には両社が長年にわたって蓄積してきた外食事業に関する経験及びノウハウを結集・融合することで、店舗営業、物流機能、購買機能、製造機能、店舗開発機能等の相乗効果が期待でき、高い競争力が実現できると考えております。

- (3) 企業結合日 平成26年 1 月 7 日
- (4) 企業結合の法的形式 株式取得
- (5) 結合後企業の名称 変更はありません
- (6) 取得した議決権比率 85.08%
- (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として味の民芸の株式を取得したためであります。

2 . 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	1,021百万円
アドバイザー費用	5 百万円
取得原価	1,026百万円

3 . 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその内訳

現時点では確定しておりません。

4 . 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5 . 支払資金の調達方法

支払資金は、自己資金及び借入金により充当しております。

6 . 子会社株式の追加取得

平成26年 1 月31日に味の民芸の株式の取得に関して株式譲渡契約を締結しております。

- (1) 株式取得の時期 平成26年 2 月19日
- (2) 取得する議決権比率 7.60%
- (3) 取得の対価 91百万円

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月14日

株式会社サガミチェーン
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 藤 泰 行 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴 木 實 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サガミチェーンの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サガミチェーン及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、平成25年12月4日の取締役会において味の民芸フードサービス株式会社の株式を取得し子会社化することを決議し、平成26年1月7日に同社の株式を取得した。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。